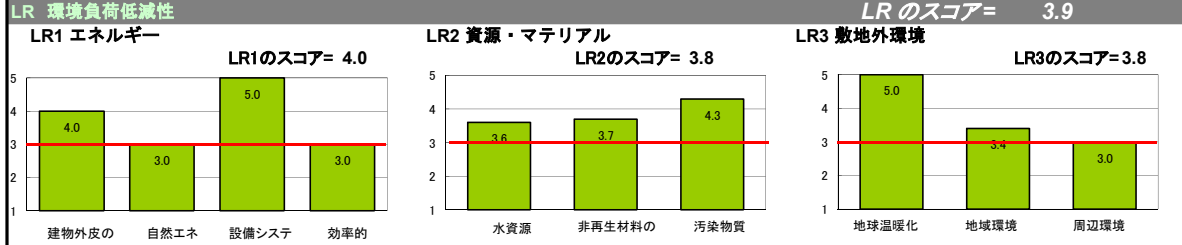
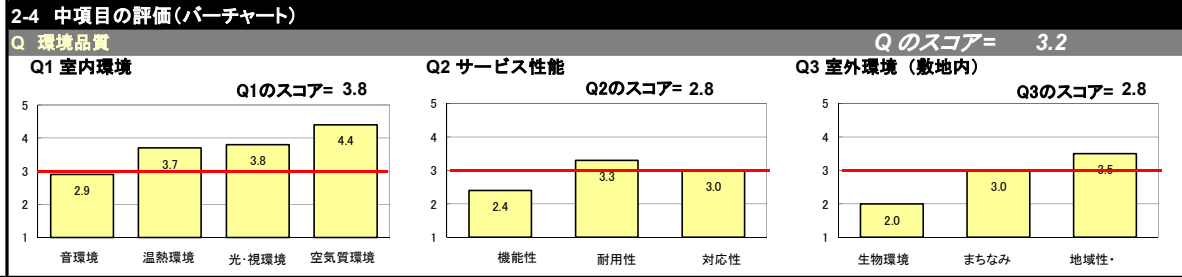
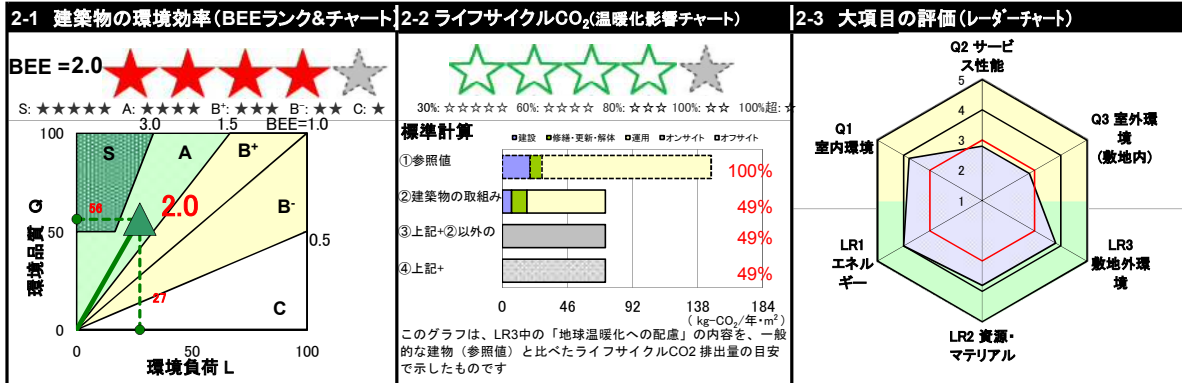


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	原山台住宅(第9工区)	階数	地上8F
建設地	愛知県瀬戸市原山台七丁目2番の	構造	RC造
用途地域	第1種中高層住居専用地域 22条	平均居住人員	216 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年6月 予定	評価の実施日	2018年6月1日
敷地面積	11,051 m ²	作成者	太田悟市
建築面積	648 m ²	確認日	2018年7月1日
延床面積	4,030 m ²	確認者	成田益美



3 重点項目

①地球温暖化への配慮 <div style="text-align: center; font-size: 2em; color: green;">5.0</div>	③敷地内の緑化 <div style="text-align: center; font-size: 2em; color: green;">2.0</div>	外構緑化指数(外構緑化面積/外構面積) <div style="text-align: center; font-size: 1.5em; color: green;">52.3 %</div> 建物緑化指数(建物緑化面積/建築面積) <div style="text-align: center; font-size: 1.5em; color: green;">0.0 %</div>
②資源の有効活用 <div style="text-align: center; font-size: 2em; color: green;">3.4</div>	④地域材の活用 <div style="text-align: center; font-size: 2em; color: green;">2.0</div>	<外装材に使用した地域性のある材料> なし <建物の構造材・内装材、外構に使用した地域性のある素材> 外構に地域性のある素材(ハノキ)を植樹

各重点項目は、以下の評価項目の得点により算出されています。

①地球温暖化への配慮
 LR-3 1 地球温暖化への配慮
 ②資源の有効活用
 Q-2 2 耐用性・信頼性、Q-2 3 対応性・更新性
 LR-2 2 非再生性資源の使用量削減
 ③敷地内の緑化
 Q-3 1 生物環境の保全と創出

外構緑化指数 = $\frac{\text{中高木の樹冠の水平投影面積} + \text{低木・地被等の植栽面積}}{\text{敷地面積から建物面積(建築面積及び附属物面積)を除いた}} \times 100$

建物緑化指数 = $\frac{\text{屋上緑化面積} + \text{壁面緑化面積}}{\text{建物によって占有された部分の水平投影面積(法定面積)}} \times 100$

3 対応性・更新性					3.0	0.29	3.0	3.0	1.00	3.0
3.1 空間のゆとり					-	-	3.0	3.0	-	0.50
1 階高のゆとり					-	-		3.0	-	0.60
2 空間の形状・自由さ					-	-		3.0	-	0.40
3.2 荷重のゆとり					-	-		3.0	-	0.50
3.3 設備の更新性					3.0	1.00				-
1 空調配管の更新性		②			-	-				-
2 給排水管の更新性					3.0	0.20				-
3 電気配線の更新性					3.0	0.13				-
4 通信配線の更新性					3.0	0.13				-
5 設備機器の更新性					3.0	0.27				-
6 バックアップスペースの確保					3.0	0.27				-
Q3 室外環境(敷地内)					-	0.30		-		2.8
1 生物環境の保全と創出		独自③			2.0	0.30				2.0
2 まちなみ・景観への配慮		独自④			3.0	0.40				3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			外構緑化 指数50% 以上		3.5	0.30				3.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		独自④			3.0	0.50				-
3.2 敷地内温暖環境の向上			空地率80%以上、緑被率30%以上		4.0	0.50				-
LR 建築物の環境負荷低減性										3.9
LR1 エネルギー						0.40				4.0
1 建物外皮の熱負荷抑制			BPI=0.8		4.0	0.33				4.0
2 自然エネルギー利用					3.0	0.17				3.0
3 設備システムの高効率化			潜熱回収型給湯器		5.0	0.33				5.0
4 効率的運用					3.0	0.17				3.0
集合住宅以外の評価										-
4.1 モニタリング										-
4.2 運用管理体制										-
集合住宅の評価					3.0	1.00				-
4.1 モニタリング					3.0	0.50				-
4.2 運用管理体制					3.0	0.50				-
LR2 資源・マテリアル						0.30				3.8
1 水資源保護					3.6	0.15				3.6
1.1 節水					3.0	0.40				-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用					4.0	0.60				-
1 雨水利用システム導入の有無			雨水貯留槽を設置		4.0	1.00				-
2 雑排水等利用システム導入の有無										-
2 非再生性資源の使用量削減					3.7	0.63				3.7
2.1 材料使用量の削減					2.0	0.07				-
2.2 既存建築躯体等の継続使用					3.0	0.24				-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		②			3.0	0.20				-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		独自	舗装:再生砕石、再生アスファルト混合物、高炉セメント		5.0	0.20				-
2.5 持続可能な森林から産出された木材					2.0	0.05				-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		独自	あいくる認定材		5.0	0.24				-
3 汚染物質含有材料の使用回避					4.3	0.22				4.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用					3.0	0.32				-
3.2 フロン・ハロンの回避					5.0	0.68				-
1 消火剤					-	-				-
2 発泡剤(断熱材等)			ハロン材を使用しない		5.0	1.00				-
3 冷媒					-	-				-
LR3 敷地外環境						0.30				3.8
1 地球温暖化への配慮		①	ライフサイクルCO2換算値50%		5.0	0.33				5.0
2 地域環境への配慮					3.4	0.33				3.4
2.1 大気汚染防止					3.0	0.25				-
2.2 温暖環境悪化の改善			風通し、地表被覆材に配慮		4.0	0.50				-
2.3 地域インフラへの負荷抑制					2.6	0.25				-
1 雨水排水負荷低減		独自			-	-				-
2 汚水処理負荷抑制					3.0	0.33				-
3 交通負荷抑制		独自			3.0	0.33				-
4 廃棄物処理負荷抑制					2.0	0.33				-
3 周辺環境への配慮					3.0	0.33				3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止					3.0	0.40				-
1 騒音		独自			3.0	1.00				-
2 振動		独自			-	-				-
3 悪臭					-	-				-
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制					3.0	0.40				-
1 風害の抑制					3.0	0.70				-
2 砂塵の抑制					-	-				-
3 日照障害の抑制					3.0	0.30				-
3.3 光害の抑制					3.0	0.20				-
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策					3.0	0.70				-
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策					3.0	0.30				-

重点項目スコアシート

原山台住宅(第9工区)

実施設計段階

■使用評価マニュアル

CASBEE-建築(新築)2016年版+あいち版手引き

■評価ソフト:

CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)_AICHI

重点項目(配慮項目)		評価点	全体に対する 重み係数	重点項目スコア
① 地球温暖化対策				5.0
LR3-1	地球温暖化への配慮	5.0	0.10	
② 資源の有効活用				3.4
Q2-2	耐震性・信頼性	3.3	0.09	
Q2-3	対応性・更新性	3.0	0.09	
LR2-2	非再生性資源の使用量削減	3.7	0.19	
③ 敷地内の緑化				2.0
Q3-1	生物環境の保全と創出	2.0	0.09	外構緑化:52.3%/建物緑化:0%
④ 地域材の活用				2.0
		(評価ポイント)		
Q3-2 4)	地域性のある素材による良好な景観形成	0.0	-	なし
Q3-3.1 I 2)	地域性のある材料の使用	1.0	-	外構に地域性のある素材(ハナノキ)を植樹

■重点項目スコア算出式

各重点項目スコアは、以下の方法により算出されています。

①地球温暖化への配慮、③敷地内緑化

重点項目スコア=各配慮項目の評価点

②資源の有効活用 (評価点×全体に対する重み)の総和

重点項目スコア= 重みの総和

④地域材の活用

重点項目スコア=評価ポイントの合計+1

■ 環境設計の配慮事項

■ 建物名称 原山台住宅(第9工区)

計画上の配慮事項	
総合	諸基準をクリアした上で建設コスト低減に配慮した。また、団地の建て替えによる周辺環境への影響について配慮した。
Q1 室内環境	断熱性等級4 居室の採光を十分に確保 シックハウス対策 仕上・下地材F☆☆☆☆ 戸別換気
Q2 サービス性能	バリアフリー等級3、天井高2.4m、階高2.8m、 共用配管は共用部分から点検、ゴミ置場は別棟、 躯体コンクリート水セメント比50%以下、
Q3 室外環境(敷地内)	外構緑化52.3%、景観条例受理済み
LR1 エネルギー	断熱性等級4
LR2 資源・マテリアル	全戸節水型ロータンク、雨水タンク(5階)散水用、 外構コンクリート高炉セメント、再生アスファルト、再生砕石、 あいくる材の推奨
LR3 敷地外環境	ガス給湯器Nox60%以下、 日影を考慮し建物配置を決定
その他	